令和４年　一学期始業式式辞（R４.４.８）

七戸高校の年度の始まりにあたり、お話しします。

まず、昨日の入学式は、ありがとうございました。皆さんのおかげで、立派な入学式を迎えることができました。新入生も大きな声で返事をしてくれ、態度も立派でした。

みんなで、最高のスタートを切ることが出来たと思います。本当にありがとうございました。

さて、七戸高校の一学期のスタートにあたり、２・３年次生にとっては、昨年度と同様。そして、一年次生は入学式でのお話の続きをします。

生徒の皆さんに大きな課題を一つとその課題克服のための宿題を三つ課します。

まず大きな課題とは、メタ認知能力を身につけること

メタ認知能力とは、自分自身のこと、今、していることの意味を客観的にとらえられる能力のこと。簡単に言うと、自分のほかにもう一人の自分で自分の行動を見つめることができること。

鳥の目のように、空の上から、社会全体を見渡す能力のこと

学校で行われている授業、学校行事、部活動、すべての活動の目的は何か？何のために、やっているのか。そのやり方でいいのか、どう取り組むべきなのか。常に客観的に考えることができる能力のことです。これを身につけることを日々考えてください。

その能力を身につけるための宿題を三つ出します。

一つ目は、「なぜ、学ぶのか？なぜ、学ばなければならないのか？について、考え、自分の答えを見つけて欲しい」ということ

まだまだ、感染症が収まりませんね。ここ２年間の人々の行動を見るとどうだったでしょうか？流行の始まりは、知らないことが多く、その恐怖から誹謗中傷や買い占めなどがありましたね。そういう点で、日常生活において、科学的、合理的な行動ができていたでしょうか。先月からは、信じられない戦争が行われていますね。しかし、この独裁を生むのは大衆民主主義からなのです。これらのこともなぜ学ぶのかということのヒントになりますね。

学ぶということは、大切な権利です。いま、ウクライナから他国へ避難している人々のことを考えてみましょう。報道から子どもの教育を気にしている保護者が多いことがわかります。また、これから仕事を得て働くにあたって言葉を覚えなければならないことが課題となっています。学ぶことができない国、学ぶ権利が無いとどうなるでしょう？

七戸高校で学ぶことがどんな意味を持つのか？気づいて欲しいと思います。いいですか。これから始まる授業や部活動、学校行事に対して意識して取り組み、広く社会に目を向けて考えないとこの答えは出てきません。ぜひ、皆さん一人ひとり、自分なりの考えを私に教えてください。

二つ目は、「夢を持ち、一日一日を大切に積み重ね継続してほしい」ということ

２、３年次生には、一年前にこんな話をしました。

15 分もあれば、英単語は、５個くらい覚えられます。それを、反復・必ず復習してから新しい単語を 15 分・毎日・朝昼晩・休まずに継続出来ていたら、今頃は 1825 個の新しい単語を覚えられていたはずです。10 個ずつなら 3650 個ですよ！一年たちました。どうですか？俗っぽく言うと、一般的な国公立大学合格レベルの英語の語彙量は 3000 くらいといわれていますから、必要な単語量は一年で十分です。もし、真剣に勉強したらもちろんその上に行けるわけです。

昨年度は朝学習で漢字テストをやっていましたね。平均点は 3 年生が負けていましたね。

なぜでしょう？それは、テストの時だけの勉強で、モチベーションの差が出ただけのことです。ちなみに前回 100 点だった漢字テストを今やって、皆さん再び 100 点をとれますか？気づきましたね。飽きるくらい反復しないと覚えられるものではありません。

受験勉強でも、資格試験でも、ダイエットでも。何かを成し遂げようとするときに一番難しいのが継続することです。

夢を持つことはできても、それを持ち続けることが難しいのです。そのためには、小さなことを一日も休まず継続して、成長を確認しなければなりません。

また、たくさんの出会いと経験も必要です。それは、モチベーション、いわゆるやる気を継続する必要があるからです。エンゲージメントともいわれますが、自分の夢を宣言し、仲間と励ましあい、教職員や地域の大人や専門家と探究的な活動をする中でモチベーションを高め、また、夢を確認する。そうして、がんばっている自分を冷静に客観的に分析していくことが大切です。

最後、三つめは、「自分の命を大切にする」ことです。

これは、必ず守ってください。そのためには、自分の善さを見つけることが大切です。自分のことを大切にできる人は、同じように、他人のことを認め、その命も同じように大切にできると私は信じています。

さて、復習。メタ認知能力を身につけましょう。そのため次の三つのこと。

一つ目、なぜ学ぶのか。

二つ目、夢を持ち一日一日を大切に積み重ねる。

三つ目、自分の命を大切に、同じように他人の命を大切にすること。

さて、先が見えない新型コロナウイルス感染症流行の最中、戦争がはじまりました。これは、映画ではありません。現実の世の中の出来事です。夫を殺害されたウクライナの女性の叫ぶ声が報道されていました。「ただ生きたいだけなのに、みんな生きたいだけなのに」という、この叫び声は、皆さんの耳にも届いているでしょう。

今年度は、とりわけ、生きることについて学びましょう。自分の幸せと人の幸せ、家族の幸せと社会の幸せが世界とつながっていることを想像しましょう。

自分が何かを始めれば、きっと何かが変わります。そのことを信じてください。

それから、最後にもう一つお願いがあります。

それは、人を頼ることです。友達だけで苦しいことを解決しようとしてはだめですよ。

昨年度、何人かの生徒が進路変更しました。進路変更自体は自分で進む道を決めたのですから否定しませんが、私はもう少し早めに相談してほしかったなぁ。もっともっとお話ししたかったなぁとの思いがあります。先生方を頼ってください。話しやすい先生でいいです。今年から、４階の職員室の隣は、生徒の相談室にしています。また、校長室は、私がいる限りいつでも開放しています。ノック無しでおしゃべりしに来てください。そうして、みんなで学びあいましょう。一学期の終わりには、皆さんが、一層魅力的になっていると信じています。

では、この一年、一緒に頑張りましょう！！

令和３年４月８日

青森県立七戸高等学校

校 長　森田　勝博